

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公開番号】特開2000-338392(P2000-338392A)

【公開日】平成12年12月8日(2000.12.8)

【出願番号】特願平11-148239

【国際特許分類】

**G 0 2 B 7/34 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B 7/11 C

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月12日(2006.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】撮影レンズの予定焦点面近傍に配置されたコンデンサレンズと、このコンデンサレンズの後方に配され、一対の開口部を有する明るさ絞りと、この明るさ絞りの後方に配置された再結像光学系と、この再結像光学系を通過した光束により形成される一対の像を所定領域で受光する撮像素子と、

を有し、上記所定領域からの画素信号より焦点検出を行う焦点検出装置であって、上記撮像素子を構成する受光素子は素子毎にオンチップマイクロレンズを有し、更に撮像素子の近傍には、上記所定領域に対応して補正レンズが配置されていることを特徴とする焦点検出装置。

【請求項2】上記撮像素子から画像信号を読み出す際に、上記所定領域以外の画素信号を読み出す際には高速読み出し動作が行われることを特徴とする請求項1に記載の焦点検出装置。

【請求項3】上記所定領域の範囲を記憶したEEPROMを更に有することを特徴とする請求項1に記載の焦点検出装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

すなわちこの発明は、撮影レンズの予定焦点面近傍に配置されたコンデンサレンズと、このコンデンサレンズの後方に配され、一対の開口部を有する明るさ絞りと、この明るさ絞りの後方に配置された再結像光学系と、この再結像光学系を通過した光束により形成される一対の像を所定領域で受光する撮像素子と、を有し、上記所定領域からの画素信号より焦点検出を行う焦点検出装置であって、上記撮像素子を構成する受光素子は素子毎にオンチップマイクロレンズを有し、更に撮像素子の近傍には、上記所定領域に対応して補正レンズが配置されていることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

この発明の焦点検出装置にあっては、撮影レンズの予定焦点面近傍にコンデンサレンズが配置され、このコンデンサレンズの後方に、一対の開口部を有する明るさ絞りが配置される。更に、この明るさ絞りの後方には、再結像光学系が配置される。そして、この再結像光学系を通過した光束により形成される一対の像が撮像素子の所定領域で受光される。また、この焦点検出装置では、上記所定領域からの画素信号より焦点検出が行われるもので、上記撮像素子を構成する受光素子は素子毎にオンチップマイクロレンズを有し、更に撮像素子の近傍には、上記所定領域に対応して補正レンズが配置されている。